

2025 年 6 月 13 日
KHネオケム株式会社
(証券コード 4189、東証プライム)

**KHネオケム、「BIO International Convention 2025」
ジャパンパビリオン出展のお知らせ
～KH ネオケム独自の糖鎖「GlyMuch®」や修飾技術を紹介～**

KHネオケム株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高橋 理夫)は、2025年6月16日(月)～6月19日(木)に、米国マサチューセッツ州ボストンで開催される「BIO International Convention 2025^{※1}」へ、昨年に続き2回目の出展をいたします。

当社は、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)^{※2}が運営するジャパンパビリオン(ブース番号:2265)に参加いたします。

本イベントは、バイオ分野(ライフサイエンス関連)において、世界最大の BtoB マッチングイベントです。世界中の製薬・バイオ企業や研究機関が集まり、最新の技術やトレンド、製品の紹介に加え、ビジネスマッチングや専門家や企業とのネットワーキングを通じて、バイオヘルス産業の活性化と国際的な発展を目的としています。

当社ブースでは、当社オリジナルの糖鎖 GlyMuch®を用いた研究用糖鎖試薬や、タンパク質やペプチドを高機能化する糖鎖修飾サービスについてご紹介いたします。

●本イベントは参加登録制です。詳しくは[「BIO International Convention 2025」](#)の公式ホームページをご確認ください。

<糖鎖について>

当社は、VISION 2030^{※3}の実現に向けて、「環境」「ヘルスケア」「エレクトロニクス」の戦略ドメインにおいて、新製品・新規事業の創出を目指しています。ヘルスケアドメインにおいてはバイオ医薬品に含まれる糖鎖の可能性に注目し、これまで独自の糖鎖及び製造技術を開発してきました。

糖鎖は、生体内において、タンパク質や脂質に結合し細胞表面や細胞中に存在しています。これらの糖鎖は生体内で起こる様々な生命現象に関与していることから、核酸、タンパク質に並んで「第三の生命鎖」と呼ばれています。

また、糖鎖は結合している物質の機能や安定性に影響を及ぼすことが知られており、さらに、細胞表面に存在している糖鎖は、細胞の接着や分化など様々な生命現象にも関与していることから、糖鎖の異常によって引き起こされる病気や疾患も数多く存在しています。そのため、生命現象の解明や新薬の開発など、生命科学の分野において糖鎖の研究開発が盛んにおこなわれています。

一方、糖鎖は、その構造の多様性から人工合成が難しく、大量かつ安定供給が学術の更なる振興と産業利用において課題となっています。当社は、独自の糖鎖製造技術を開発しており、様々な種類の糖鎖を大量かつ安定して供給することで、抗体医薬品やペプチド医薬品などのバイオ医薬への貢献を目指しています。

【出展概要】

イベント名	BIO International Convention 2025
主催	Biotechnology Innovation Organization
開催期間	2025 年 6 月 16日(月)～6月19日(木)
会場	Boston Convention & Exhibition Center 415 Summer Street Boston, MA 02210 https://convention.bio.org/bio-2025/venue
ブース番号	2265 (Japan Pavilion) https://bio2025.mapyourshow.com/8_0/floorplan/
展示内容	・研究用 N 型糖鎖試薬 ・糖鎖修飾によるタンパク質、ペプチドの高機能化技術

■糖鎖について

<https://www.khneochem.co.jp/solution/glycan/>

■GlyMuch®について

<https://www.khneochem.co.jp/solution/glycan/library/>

※1 「BIO International Convention 2025」について

<https://www.biokorea.org/index.asp>

※2 「独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)」

<https://www.jetro.go.jp/>

※3 「VISION2030」について

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4189/ir material for fiscal ym/56482/00.pdf>

【KH ネオケムについて】 ※2024年12月末時点。

社名	KHネオケム株式会社	
代表	代表取締役社長 高橋 理夫	
設立年	2010 年 12 月(前身の協和油化は 1966 年 11 月設立)	
資本金	8,855 百万円	
本社	東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号	
従業員数	連結829名	
事業内容	各種石油化学製品の研究・製造・販売	
主要製品群	機能性材料(冷凍機油原料・化粧品原料など) 電子材料(半導体およびフラットパネルディスプレイ用高純度溶剤など) 基礎化学品(塗料およびインキ用溶剤・プラスチック用可塑剤原料など)	
グループ会社	黒金化成株式会社／株式会社黒金ファインズ／KH Neochem Americas, Inc. ／晟化(上海)貿易有限公司	
沿革	1948 年	協和産業(株)(後の協和発酵工業(株))が、日本で初めて発酵法により、糖蜜からアセトン・ブタノールの大量生産を開始
	1949 年	協和発酵工業(株)設立(現:協和キリン(株))
	1966 年	協和油化(株)設立(協和発酵工業(株)の化学品製造子会社)
	2004 年	協和油化(株)に協和発酵工業(株)の化学品事業を統合し、協和発酵ケミカル(株)発足
	2011 年	協和発酵ケミカル(株)が協和発酵キリン(株)(現:協和キリン(株))グループから独立
	2012 年	協和発酵ケミカル(株)からKHネオケム(株)へ社名変更
	2016 年	東京証券取引所市場第一部に上場
	2018 年	VISION 2030 を策定
	2019 年	オープンイノベーション拠点 KH i-Lab を開設
	2022 年	東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、プライム市場へ移行

【本件についてのお問い合わせ先】

KHネオケム株式会社 イノベーション戦略部
TEL: 03(3510)3600

【報道関係者からのお問い合わせ先】

KHネオケム株式会社 広報・IR 部
TEL:03(3510)3579 FAX:03(3510)3571
東京都中央区日本橋室町二丁目3番1号
<https://www.khneochem.co.jp/>